



MOTOYAMA



本山の情報をお届けします
Kochi ebooks

11月号

Public Relations Motoyama 2025 vol.270

広報もつやま

第13回 天空の郷もつやま写真コンテスト 入選

「黄金の刻」川村 香代氏

嶺北消防団連合会夏季合同演習 第35回操法大会

8月17日（日）に早明浦ダム直下のふれあい広場で第35回操法大会が開催され、本山町から予選を勝ち抜いた5チーム（小型操法の部に3チーム、ポンプ車操法の部に2チーム）が出場し、炎天下の中、練習の成果を発揮しました。結果は下記のとおりです。



【ポンプ車操法の部】

- 第1位 土佐町消防団田井分団
- 第2位 土佐町消防団中央分団
- 第3位 本山町消防団中央分団
- 第4位 本山町消防団吉野分団



【小型ポンプ操法の部】

- 第1位 土佐町消防団古奈川分団
- 第2位 本山町消防団中央分団
- 第3位 本山町消防団寺家分団
- 第4位 大川村消防団
- 第5位 土佐町消防団松ヶ丘分団
- 第6位 本山町消防団南部分団
- 第7位 大豊町消防団大田口分団
- 第8位 土佐町消防団平石分団
- 第9位 大豊町消防団落合分団
- 第10位 大豊町消防団立川分団

紅一点 小型操法の部で大活躍 本山町消防団中央分団 すずき いく 鈴木郁さん

本山町消防団中央分団に所属する鈴木さんは、小型ポンプ操法の部で唯一の女性団員として出場し、きびきびとした動作で大活躍され、チームを町大会優勝、嶺北大会準優勝に導いた立て役者です。

大会を終えて鈴木さんは、「最初は戸惑いを感じたが、練習をしていくうちにモヤモヤが吹っ切れた。操法を通じて出動時でもおのずと身体を動かせるようになるまで今後も励んでいきたい」と意欲的に話していました。

また、本山町消防団中央分団長の本山眞さんは「嶺北では小型操法に選手として出場した女性は今まで聞いたことがない。彼女の活躍を通じて女性が消防団活動に興味を持つ人が増えれば」と今後に期待を寄せています。

9月1日現在、本山町消防団の団員数は163名（男性159名・女性4名）で年々減少しており、特に若年層が減少する一方で、消防団は地域の安全確保のために大きな役割を果たしており火災や災害時の活動は非常に重要とされています。



本山町消防団本部は、18歳以上で町内在住または勤務している方を対象として常時募集しています。「安心して暮らせるまち、災害に強いまち」を目指して、地域のために消防団に入団しませんか？消防団に興味のある方、または入団したい方は、お気軽にお問い合わせください。

● 問い合わせ先 ○ 総務課 ☎ 76-2223

まちなかビアガーデン

9月19日（金）旧役場庁舎跡横駐車場にて「まちなかビアガーデン」を開催しました。今回のビアガーデンは、三区の小野雄基区長を実行委員長とし、一区・二区の区長さんや住民の方々と協力し、実施しました。

当日は、事前に予約をされた約100名が来場し、世代を問わず多くの方々が交流を深めました。家族や友人同士はもちろん、初めて顔を合わせる人との交流もあったり、子どもたちが楽しそうに過ごす姿も見られました。



を改めて実感できる場となりました。

今回の開催にあたり、準備や運営にご尽力いただいたスタッフや出店者の皆さまに厚く御礼申し上げます。そして、ご参加いただいた皆さまのご協力により、今年も安全に実施することができました。誠にありがとうございました。

今年のビアガーデンは昨年と違い、旧役場庁舎が解体され、開けた跡地スペースに出店が並んだことです。来場者は冷たいビールと各店の料理を手に、テーブルを囲んで会話を楽しんでいました。「宴会の機会が減っていたので、こうしたにぎやかな場は久しぶり」との声や「（庁舎跡地を見て）思ったより狭いね」といった声も聞かれました。

終了後の片付けには、スタッフに加えて来場者の方々も自主的に参加してくださり、地域のつながり



秋夜のつどい in 東光寺



9月27日（土）17時より、東光寺にて「秋夜のつどい in 東光寺」を開催しました。このイベントは本山町商工会青年部主催による昨年に続いて2度目の開催となりました。

当日は地元事業者による露店が並び、生ビールやハイボールを片手に、音楽ライブや小野住職による落語を楽しむ来場者で賑わいました。

さらに、本山町産のさつまいも「紅はるか」を使って青年部と嶺北高校の生徒が共同開発したオリジナルアイスクリームも大好評でした。

会場では、地域の方々と作った牛乳パックを使った灯籠が机や参道をやさしく照らし、幻想的な雰囲気の中で地域のつながりを感じるひとときとなり、多くの方々のご参加とご協力により、心温まる秋の夜の交流の場となりました。





PEN
RELAY
No.37

命の大切さを
伝えていきたい

さわだ
澤田 ちか
知佳さん

私は、兵庫県伊丹市出身で、平成30年に本山町に移住してきました。現在は、本山町社会福祉協議会内にあります、いきいきふれあいセンターで働いています。2歳になる双子の女の子を育てていますが、出産のときは大変なエピソードがありました。

妊娠21週目のときに切迫早産の危険があり、予断を許さない状況のなか、24週目で出産しました。生まれたときは2人とも600g程の未熟児で、しばらくMFCU（母体・胎児集中治療室）で過ごすこととなりました。

出産のとき、私自身も大量出血で命の危険と隣り合わせのなか、無事に2人を出産できたこと、私も生きていられたことで、心から命の大切さを実感することができました。

今年から保育所に通っています。が、町外出身ということもあり、入所前はドキドキしていました。ですが、本山町は町外出身のお母さんも多いですし、支援センターに通っているときからクラスに入っていたりしたことで、私も子どもたちもスムーズになじむことができました。

出産時の影響で、次女は歩行に配慮が必要で大変なときもありましたが、家族みんなで毎日楽しく過ごしています。これからも、子どもたちの成長を楽しみに見守ってきたいと思います。

趣味は？

料理（おいしいと言ってもらえるのがうれしい）

次号は、澤田さんからご紹介いただいた石田真夕さんです。



令和7年度 人口減少対策総合交付金補助・支援事業等のご紹介

本山町では、Uターンや移住の若者子育て世代が定住しやすいまちづくりを推進するため、補助・支援事業等を実施することとなりました。令和7年度の補助・支援事業をご紹介します。
年度内の申し込み期限が近いものもありますので、お早めにお申し込みください。

① Uターン引越し支援事業

町出身の新卒者や移住者（34歳以下の単身、夫婦ともに39歳以下の世帯、18歳未満の子がいる子育て世帯）に対して、本町への引越し費用の一部を単身：100,000円、2名以上世帯：200,000円を上限に補助します。



② 通勤支援事業

町出身の新卒者や34歳以下の移住者、34歳以下の域外転職者に対して、本町に居住し県内企業等に遠距離通勤する費用として月額10,000円を補助します。

③ 資格取得支援事業

町出身の新卒者や34歳以下の移住者が本町に居住し県内の企業等に就業するにあたり、法令等の規定により必要な資格やキャリアアップのための資格等を取得する場合の費用について、一人100,000円を上限に補助します。



④ 若者・子育て世帯新築リフォーム促進事業

夫婦ともに39歳以下の世帯や18歳未満の子がいる子育て世帯が町内に住宅を新築または親世帯と同居するためのリフォームを行う場合、一世帯1,000,000円の奨励金を支給します。

⑤ 同窓会支援事業

- (1) 町内の飲食店で開催されるもの。
 - (2) 出席者が町内の小学校、中学校の卒業年度の同級生等であること。
 - (3) 開催の目的を主とする出席者の年齢が、開催日の属する年度の4月2日から翌4月1日までの間に達する満18歳から34歳までで構成されていること。
- ※その他、出席者に関する要件あり



⑥ 結婚新生活支援事業

夫婦ともに39歳以下の方が結婚された場合、新生活のスタートに係る経済的負担を軽減するため、上限300,000円（家賃、引越費用等）を支援します。
※その他年齢(29歳以下)、世帯所得(500万円未満)、親元同居・近居による加算あり

⑦ 本山町出身者ネットワーク構築事業

町公式LINEから各種情報を発信し、本山町と登録者のつながりを強めます。また、若者(18歳以上34歳以下)の町公式LINEへの登録を促すため、地場産品を活用したふるさと小包を新規登録者にお送りします。



⑧ 自営業・フリーランス等出産育児支援事業

本町に居住する自営業やフリーランス等で生計を立てている世帯において出産した場合の出産手当金に準ずる応援金を支給します。併せてその世帯の生計維持者が育児休業される場合には育児休業手当に準ずる応援金を支給します。

⑨ 男性育休取得促進事業

本町に居住する男性が育児休業を取得した場合、期間に応じた奨励金を事業主に支給します。



⑩ 出会いのきっかけ支援事業

本町に居住する39歳以下の方が「高知で恋しよ!!マッチング」へ入会申込をした場合の費用10,000円を上限に補助します。

●各事業の問い合わせ先

- ①～⑦ 政策企画課 ☎ 76-3915
- ⑧～⑨ 住民生活課 ☎ 76-2115
- ⑩ 教育委員会 ☎ 76-3913



本山町政策企画課
友だち募集中!

健康保険証は 12月2日以降使用できなくなります

従来の健康保険証は、令和6年12月2日以降新たに発行されなくなりました。
その後は、マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）を
基本とするしくみに移行しています。

※国民健康保険、後期高齢者医療保険加入者の方の有効期限は2025年7月31日で満了となりました

マイナ保険証ならではのメリット

- ✓ 過去のお薬・診療データに基づく、より良い医療が受けられる
- ✓ 突然の手術・入院でも高額支払いが不要になる
- ✓ 救急現場で、搬送中の適切な応急処置や病院の選定などに活用される

健康保険証として利用できるだけでなく、日常生活の中で利用できるシーンが広がっています。ぜひ日頃からマイナンバーカードを持ち歩いて、ご活用ください！



マイナ保険証を使わない場合の受診方法

- マイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない方には、従来の健康保険証の有効期限がきる前に「資格確認書」を無償で申請によらずお届けします。ご自身での申請は不要です。なお、すでに利用登録されている方であっても、解除された方には同様に届けます。
- マイナ保険証を持っていても、マイナンバーカードでの受診等が困難な方（高齢者、障害者等）は、申請いただくことで、資格確認書を無償で交付します。（更新時の申請は不要）
- 病態の変化などにより、顔認証付きカードリーダーを上手く使えなくなった場合、資格確認書をご使用ください。従来の健康保険証と同様、親族等の法定代理人や、介助者等による代理申請も可能です。
- 後期高齢者医療制度の被保険者は、2026年7月末までの暫定的な運用として、マイナ保険証の保有状況にかかわらず資格確認書を無償で申請によらず交付します。そのため、当分の間、申請は不要です。

マイナンバー総合フリーダイヤル **0120-95-0178**
5番を選択のうえ、音声ガイダンスにしたがってお進みください。
受付時間（年末年始を除く） 平 日：9時30分～20時00分
土 日 祝：9時30分～17時30分

マイナンバーカードの保険証利用についてもっと知りたい方はこちら



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

● 問い合わせ先 ○ 住民生活課 住民班 ☎ 76-2115

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です！

国民年金保険料は所得税法および地方税法上、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されますが、控除の対象となるのは、令和7年中（令和7年1月1日から令和7年12月31日）に納められた保険料の全額です（令和7年中に納められたものであれば、過去の年度分の保険料や追納された保険料も控除の対象となります）。

本年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要です。このため、日本年金機構から、下記のスケジュールで「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛てに送付されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」は、e-Taxで利用できる電子版の交付も行っています。郵送よりも早く受け取ることができ、簡単に確定申告ができるため、電子版を推奨しています。

マイナポータルから「ねんきんネット」にログインし、電子送付希望の登録をすると、マイナポータルの「お知らせ」で電子版を受け取ることができます（登録をすると郵送されなくなります）。

	対 象 者	送付方法	送 付 時 期
①	令和7年1月1日から令和7年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方	電子送付	令和7年10月中旬から下旬にかけて順次
		郵送	令和7年10月下旬から11月上旬にかけて順次
②	令和7年10月1日から令和7年12月31日までの間に国民年金保険料を納付された方（①の対象者は除きます。）	電子送付	令和8年1月下旬
		郵送	令和8年2月上旬

なお、ご家族（配偶者やお子様等）の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合は、ご自身の国民年金保険料に加え、その保険料についても控除が受けられます。

● 問い合わせ先 ○ 住民生活課 住民班 ☎ 76-2115 ○ 南国年金事務所 ☎ 088-864-1111

『Sマーク <標準営業約款制度>』 をご存じですか！

高知県では、理容・美容・クリーニングの3業種で、厚生労働大臣の認めたルールに従って、安心・安全・清潔のサービスを提供しているお店を、標準営業約款登録店舗とし、Sマークの表示でお知らせしています。

毎年11月を「標準営業約款普及登録促進月間」として、消費者の皆さまへはSマークの周知、営業者の方には登録を呼びかけています。

お近くの店先を探してみませんか。



● 問い合わせ先 ○ (公財)高知県生活衛生営業指導センター ☎ 088-855-5100

防災コーナー

大地震発生！ 対策は十分か？



南海トラフ地震は、今後30年以内に60～90%の確率で発生するといわれています。実際に発生した場合、事前の対策は十分でしょうか？災害時に大切なことは、自らの命は自らが守る意識を持ち、自らの判断で避難することです。

日頃からできる事前対策・確認事の一例

- ・居住する家屋の耐震化・不燃化に取り組む。
- ・近くの避難所・避難場所がどこにあるか把握しておく。
- ・貴重品を含む非常用持ち出し袋等の準備をしておく。
- ・車等の燃料は、いつも半分以上いれるようにしておく。
(災害時給油所は長蛇の列が予想されます)
- ・宅内の出入り口に避難の支障となる物を置かない。
- ・宅内の高いところにある物を固定する。
- ・水・食料・普段使用する薬等を十分に備蓄する。
(備蓄食料がありすぎて困ることはありません)
- ・棚の中のものが飛び出さないよう対策する。
(地震時は物が飛散し、避難の支障になります)
- ・携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー・電池を準備しておく。

11月1日に町内で実施した、南海トラフ地震臨時情報に係る避難行動・避難訓練に通じるものです。いざというときに困ることがないように、事前に自身でできることに取り組み、災害に備えましょう。

参考資料：本山町地域防災計画 第2編 地震災害対策編 第2章 地震災害予防計画
第18節 住民等の自主防災力の向上
：高知県全戸配布冊子【南海トラフ地震にそなえちよき(家庭保存版)】



● 問い合わせ先 ○ 総務課 ☎ 76-2223

地域おこし協力隊通信



8月17日(日)嶺北消防
団連合会夏季合同演習第
35回操作大会が早明浦ダ
ム直下で行われました。
私は吉野分団の2番員
としてポンプ車操作の部
に出場いたしました。結
果は第4位でしたが、個
人賞として吉野分団から
2名が最優秀賞を頂くこ
とができました。各分団
とも指揮者の覇気のある
号令に、全ての番員が呼
応するように正確な所作
に加え、機敏な動きで火



【今月の担当】
林業振興班
とやま やすお
外山 康雄

点を見入っていました。次は出場分団のため、技場を水で濡らさぬようスに、全分団の方々がホーイドはラグビーの「ノース」を担いだ精神にも似た感覚をいただきました。操法は火事や災害の時に迅速に行動できるように活動していきたいと思います。現在ほとんどの分団で人数が定員に達していません。団員随時募集しておられますので、一人でも多く分団に入ってください。私自身、協力隊活動としては今年度で任期が終了となります。卒隊してからも、本山町にいたときのように頑張ります。



協力隊ホームページ <https://mtymc.wordpress.com/>

毎月19日は「食育の日」



～免疫力アップでインフルエンザ予防!!～

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザが流行するシーズンです。高熱や全身のだるさなどの全身症状を伴い、抵抗力が弱い方（幼児・高齢者など）が感染すると、重症化するおそれが高まります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが大切です。

《インフルエンザ予防のポイント》

①手洗い

よく泡立てた石鹸を使って、手のひら・手の甲・親指・指先・手首をすみずみまでよく洗い、流水でしっかり洗い流します。清潔なタオルやペーパータオルでしっかり水分を拭き取りましょう。

②バランスのよい食事

食事は主食・主菜・副菜をそろえるようにしましょう。



③予防接種を受ける

④適度な湿度（50～60%）と換気

- 空気が乾燥すると、鼻や喉の粘膜の防御機能を弱らせ、ウイルスが体内へ侵入しやすくなります。
- 十分に換気することで、感染症対策につながります。

⑤マスク着用

流行期間中は、人混みを避けましょう。やむを得ず、人混みに入る場合は、マスクを着用するようにしましょう。

⑥ストレス対策と休養

十分な休息で疲労やストレスを回復させることで、体の防御機能を高め、ウイルスへの抵抗力を高めます。



◎毎月19日は、「食育の日、家族そろっていただきますの日」と設定し、できる限り地域の食材を使い、家族で食事の準備をし、家族そろってゆっくり食事をいただき、食育について考え、実施する日としています。
《本山町食生活改善推進協議会》

～子ども虐待のない社会の実現を目指しましょう～

子ども家庭庁では、11月を「秋のこどもまんなか月間」と定め、家庭や学校、地域など社会全般において、児童虐待問題に対する深い関心と理解が得られるよう、広報・啓発活動を進めています。

全国的に児童虐待に関する相談対応件数は増加傾向にあり、子どもの生命が奪われるなどの重大な事件が後を絶ちません。社会全体で子どもを見守り、すこやかに育む環境づくりに取り組むことが必要です。どんな小さなことでも気になることがあれば、健康福祉課などへお気軽にご相談ください。また、出産・子育てに悩んだときは、ひとりで抱え込まず、子育て支援センターなどを利用してみましょう。

●虐待かもと思ったときの連絡先

本山町健康福祉課

☎ 70-1060

高知県中央児童相談所

☎ 088-821-6700

児童相談所全国共通ダイヤル

189（いちはやく）**通話料無料**

※通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。



●子どもや家庭のことで、困っていることや心配なときの連絡先

本山町健康福祉課

☎ 70-1060

本山町子育て支援センター

☎ 76-3003



第33回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会投句募集(～1/31)

【町内歴代入選句 第16回大会県内中学生の部】
植田紀子選最優秀賞
足裏と音で感じる霜柱
石川祐記子

妻の遺品ならざるはなし春星も
暮石



暮石と妻・房子

本山町古田出身の蛇笏賞受賞俳人・右城暮石の功績を称え、第33回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会を開催します。事前句の選者に右城暮石創設の俳誌「運河」現主宰・谷口智行さんと、佐藤文香さんをお迎えします。

募集要項、投句用紙は大原富枝文学館、本山町プラチナセンター、さくら図書室で配布し、大原富枝文学館ホームページからダウンロードできます。ふるってご応募ください。

【町内歴代入選句 第25回大会一般の部】
宇多喜代子選入選
南南東こんな近くに初日の出
高橋純子



【佐藤 文香 氏】

1985年生まれ。兵庫県神戸市、愛媛県松山市で育つ。句集に『海藻標本』（第10回宗左近俳句大賞）、『君に目があり見開かれ』、『菊は雪』、『こゑは消えるのに』。2014年ごろから詩も書き始め、『渡す手』にて第29回中原中也賞。編著に『俳句を遊べ!』、『天の川銀河発電所』など。

《表 彰 式》

令和8年4月12日(日) 13:00～
本山町プラチナセンターふれあいホール

※当日句受付10:00～11:30

※記念講演13:10～

「笑える俳句 - 右城暮石を中心に -」

佐藤 文香



【谷口 智行 氏】

1958年京都生まれ。三重県御浜町在住。運河主宰兼編集長。句集『藁婦』『娼婦』『星糞』『谷口智行集』『海山』(R7「俳人協会賞」)、エッセイ集『日の乱舞/物語の闇、』共著『女性俳句の世界 第五巻』、編著『平松小いとゞ全集』評論『窮鳥のこゑ』(R3「日本詩歌句随筆評論大賞」)『俳句の深層』。

令和7年度 本山町内新転入者教職員研修会

本山町の魅力や実態を知り、今後の教育実践に生かすという目的のもと、8月1日（金）に教職員の町内視察研修を行いました。研修会では小・中・高の新転入者教職員が現地に赴き、実際に地域で働く方々とお話を聴いて知識を深めることができ、とても充実した一日になりました。研修にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

【研修内容】

- ①地域資源活用型の産業づくりについて
- ②地産地消・外商の取り組みについて
- ③活力ある生産者の活動について



参加者の声

参加者①



本山町のさまざまな産業や地理等を視察することで、これまで知らなかった町の強みを知ることができました。

視察を通して感じたことは、それぞれが地域資源を生かして持続可能な取り組みを行っていることです。ここで暮らす人々が自然と共生しながら地域の資源を活用し、町外から観光客を誘致したり、野菜やお米等を販売したりする姿や活動の様子は、例えば道徳や社会、総合的な学習の時間で生かすことができるのではないかと思います。

自分の地域に誇りをもつ子どもを育てるためには、まずは地域を知ることが一番です。そして、地域の人とつながる学びをこちらがコーディネートすることで、子どもたちは自分事として地域のよさや課題について考えることができるようになるのではないでしょう。

2学期以降の実践に役立ちそうな学習材料がたくさんあり、大変勉強になりました。

参加者②

「本山町は地理・産業・人等すべてにおいて素晴らしい！」
新転入研修会に参加し、私が一番感じたことです。吉延の棚田では、田岡さんがなぜおいしい米ができるのかや「結」という組合について等、クイズを入れて楽しく詳しく説明してくださいました。吉延の人々の熱い思いや工夫が「日本一の天空の郷にこまる」を作り出していることがよく分かりました。また、土佐あかうしの前田さん、彩りピーマンの大石さん、ノーブルの藤原さん、カワムラファームの川村さん等、それぞれの生産者さんの直接の声を聞け、本山の気候の特色や生産されている方の思いが本当によく分かりました。郷土に誇りを持ち、郷土に貢献できる子どもたちを育てていきたいという思いも強まりました。



参加者③



ご縁もあって私が生まれ育った故郷を巡らせていただく研修ということで、非常に楽しみにしておりました。

幼少期の頃と比べて変わったところは、人口・子どもたちの減少ということで学校では統廃合が進んで産業等においても担い手が少なくなっていることでした。しかし、今までの良さを引き継ぎ、次世代へとつないでいくこうとする人々の努力や工夫に触れることができました。

変わらないところは、美しい自然や町、そして人々のやさしさ・温かさでした。幼少期のころにお世話になった方々が元気で活躍されているのを感じ、非常に感動して、なつかしさとともに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

総合的な学習の時間では本山町の魅力について学習をしています。教育活動で生かしたいこと、紹介したいこと等生徒とも共有をして、深い学びにつなげていきたいです。

参加者④

視察先で印象に残ったこと、それは視察先それぞれの現場においてそれぞれの職種に従事される皆さんのプロフェッショナルぶりでした。この山間の小さな町にも多くのプロフェッショナルが息づき、農業に限らず、観光、資源開発：と町に息吹を与えているのだと改めて感じさせられました。

そんな中でも、吉延展望台での中学生のお孫さんを伴った棚田の歴史、米作りにまつわる蘊蓄：地域愛や米作りへの愛にあふれたお話に惹きつけられました。特に、自分の育った地元を誇らしく堂々と語るお孫さんの姿や語り口調は郷土愛に満ちており、強く印象に残っています。

今回の研修は、子どもたちと一緒に本山のプロフェッショナルを語るための会話のきっかけを、またそれを深めていく材料を提供したと考えます。ありがとうございました。





MOTOYAMA

学校・育だより

Vol.208

本山保育所で

園内研修を行いました

8月27日(水)に5歳児きりん組の公開保育をもとに園内研修を開催しました。園内研修は、保育士の専門性向上、発達理解、発達に合った保育内容の理解、保育実践における課題解決を目的とし、年に数回開催しています。

今回は5歳児クラスを対象とし、保・小・中の連携を深めることも目的として、町内小中学校から15名の先生方に参加いただきました。

普段のあそびの姿から

保育参観では、「夏祭りをしたい」という子どもたちの願いをもとに楽しんでいるお祭り作りなど、普段の遊びや保育士・友だちとの対話の様子を教員の皆さんにも見ていただきました。遊びや生活の中で、自分の思いを伝えるだけでなく、相手の思いを聞いて知ったり、友だちと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかと考えたり、製作に使う材料を工夫したり、友だちとの対話を通して試行錯誤する等さまざまな姿が見られました。



みんなの思いをつなぐ
サークルタイム



自分たちでお祭りを
つくるぞ〜!



学校の先生と
共に意見交換
を行いました!



保育参観後は、小学校教員と保育士がグループに分かれ、年齢発達に合った遊び、環境構成、職員の関わり、友だち同士の関わりはどうだったかについて話し合いました。一人ひとりが大事にされ、仲間の中でそれぞれのペースで成長し、個から集団へと育ちあっていることを確認しあいました。また、遊びの中でも小学校での学びにつながる場面がたくさんあり、参加者で今大事に取り組んでいる保育内容の共有も行うことができました。

多数の教員の方々に参加いただく園内研修は数年ぶりで、このように保育内容や子どもの育ちについて協議する機会は本山保育所が始まって以来、初の試みとなりました。今後も保・小・中の連携をさらに深められるよう、保育士・教職員・保護者・地域の皆さんと手を取り合い、今回のような園内研修を継続し取り組んでいきたいと思ひます。引き続き全職員で協力しながら、子どもも大人も安心して過ごせる子育て環境づくりを軸に保育を進めていきます。

★11月の予定★

★本山保育所★

- 11/ 5(水) 第3回ペアプロ
- 11/11(火) 総合避難訓練
- 11/12(水) 民生委員さんとの交流
キッチンカー炊き出し
- 11/14(金) 歯磨き講習
(こぐま・ぞう組)
- 11/14(金) 0歳児測定
- 11/18(火) 歯科健診
- 11/19(水) 第4回ペアプロ
リース作り(きりん組)
- 11/26(水) 子育てサロンすまいる
- 11/27(木) 起震車体験(きりん組)
- 11/30(日) バザー

★子育て支援センター★

- 11/ 6(木) 絵本に親しもう
- 11/12(水) 身体測定・育児相談
- 11/18(火) お誕生会(10,11月生)
お茶会
- 11/27(木) 作って遊ぼう

★本山小★

- 11/ 4(火) 人権の花事業
- 11/ 6(木) 委員会
- 11/13(木) 本山町老人クラブ連合会体育
大会・福祉運動会
- 11/21(金) 読み聞かせ
- 11/22(土) 文化学習発表会
- 11/25(火) 代休
- 11/28(金) 火災避難訓練、紙芝居

★嶺北高校★

- 11/ 1(土) ベネッセ総合学力テスト
(1・2年生)
- 11/1(土)・2(日) ベネッセ共通テスト模試
(3年生)
- 11/ 9(日) 第2回英語検定(2次)
- 11/11(火) 基礎学力診断テスト(1・2年生)
- 11/13(木) ものメッセKOCHI2025参加
(ちばさんセンター)
- 11/20(木) 交通安全街頭指導
- 11/27(木) 期末テスト発表

★吉野小★

- 11/ 6(木) 教職員研修指定校、公開授業
- 11/13(木) 吉野検定
- 11/25(火) 持久走取組開始
- 11/29(土) きらきらフェスタ

★嶺北中★

- 11/ 1(土)・2(日) 香長地区バレー新人大会
- 11/ 2(日) 中高一貫教育吹奏楽部定期演奏会
- 11/ 5(水) 校内マラソン大会(予備日11/10)
- 11/ 7(金) 第2回漢字検定
- 11/ 9(日) 第2回英語検定二次
- 11/11(火) 生徒会役員選挙
- 11/12(水) 第3回中高合同避難訓練(予定)
- 11/15(土) 本山町産業文化祭(吹奏楽部演奏)
- 11/15(土)・16(日) バドミントン秋季大会(春野)
- 11/18(火) さくらプロジェクト学習文化発表会
- 11/19(水) 期末テスト発表
- 11/23(日) 中学生ビギナーズバレーボール大会
- 11/26(水)~28(金) 期末テスト
- 11/28(金) 起震車体験